

橋本順子さんの土遊野事例報告

5月14日(土)にG7環境相会議でにぎわう富山市のサンシップ富山で開催されたアースデイとやま2016環境市民フォーラムにて昭和53年教育卒の橋本順子さんが事例報告を発表されました。

「生物多様性に支えられて営む『持続的有畜循環型有機農業』の実践」のタイトルで富山市大沢野にあるご自身の土遊野農場での、有機肥料や循環型有機農業、農場の土に住む発酵菌を使った飼料作り、山の出水を利用した小水力発電について興味深い発表をされました。

橋本さんは茨城県出身で草刈り十字軍をきっかけに東京出身のご主人と33年前から富山にお住まいです。現在は、娘さんご夫妻も経営に参加され、パンづくりや自然体験、さらに研修の場の提供もしていらっしゃるということです。(M.K)

